

お西さん

2014
平成26年
1-2



1964(昭和39)年10月26~29日 親鸞聖人700回大遠忌法要

主さまにもお

くださるご門

法要でお越し

堂落成慶讃

忌法要と本

50回大遠

親鸞聖人7

る当別院で

曜日に行わ

ます。本年5

月10日の土

曜日に、すぐ隣に和室

が2室ござい

ます。本年5

月10日の土

曜日に、すぐ隣に和室

が2室ござい

ます。本年5

月10日の土

曜日に、すぐ隣に和室

が2室ござい

ます。本年5

月10日の土

曜日に、すぐ隣に和室

が2室ござい

ます。本年5

月10日の土

曜日に、すぐ隣に和室

が2室ござい



第4回 特別なこと

本堂の中央、玄関のすぐ上の2階にお部屋があります。「講師室」です。こちらは、別院からご依頼をしてお招きした方に滞在いただくお部屋として設けられました。和室と洋室があり、また、必要な時にお使いいただくことができますように、すぐ隣に和室が2室ござい

入りに、すぐ隣に和室が2室ござい。す。ご門主さまは京都にあるご本山(本願寺)のご住職であり、全国にある全ての別院のご住職です。このお部屋にある小窓から、境内正面を見ることができ、5月10日にはご門主さまがここから、笑顔で参拝にいられる皆さんの姿をご覧になることができます。

連載

レンガ色の物語

新本堂にまつわるこんな話

「なごみ」の寺 本願寺函館別院

函館市東川町12-12 ☎(0138)23-0647

ホームページアドレス <http://hongwanji-h.h-tk.jp>

月忌参りお休みのお知らせ

平成26年1月1日(水)~10日(金)(年始参り期間のため)

本堂玄関には、この本堂の外観の荘厳さを象徴する、高い柱を備えた庇ひさしがあります。その大きさに驚かれる方も多いかと思えます。例えば、車いすの方やご年配の方が雨や雪に困ることなく、玄関の扉のところまで乗用車をつけることができるようにスロープが設けられました。ぜひお気軽にお越しください。

ちなみに、庇の内側にかかっているのは、この本堂建設にあたり設計監理をしていたいただいた二本柳慶一建築研究所より贈呈いただいたものです。ここに描かれているのは、『仏説阿弥陀経』に出てくる「共命鳥」です。玄関上部の鏡に映るようには作られています。次にお越しの際にぜひご覧ください。

この庇からさらに上、屋根をご覧ください。



本堂の最上部にあるのは、「宝珠」です。仏様の徳が満ちていることを宝物の珠を模して表されたものであり、古来より仏閣建築物の屋根に設けられているものです。

最後にご紹介するのは、この本堂の最大の特徴、壁を覆っているレンガです。その数は5万枚！四国で焼いて作られたものが、この函館に運ばれてきました。かつて明治40年頃建てられた、モダンな



街・函館によく似合うレンガ造りの本堂が、昭和9年の大火での焼消失から80年近くの時を経て、再びここに姿を現しました。



お通夜・お葬儀をお寺で

西別院文化会館でお葬儀会場としてご使用できます。詳細はお寺にお問い合わせください。

会館使用懇志

- ◆西別院御門徒……………5万円
- ◆仏教会加盟寺院… 15万円
- ◆和室(20名程度) …… 3万円



写真はお通夜の様子

大谷光真ご門主ご親修 親鸞聖人750回大遠忌法要 本堂落成慶讃法要

2014(平成26)年5月10日(土)厳修

京都のご本山よりご門主さまがお越しになり、別院での最大行事「ご親修」が行われます。6月5・6日の法灯継承式をもって大谷光淳新門さまが継職されますので、現在の大谷光真ご門主さまが「門主」というお立場で函館にお越しになるのは、これが最後となります。
この「ご親修」について、行われることをご知らせさせていただきます。

大きな法要が行われます

この別院としての宗祖親鸞聖人の750回大遠忌法要を、併せて新本堂完成をご縁としての落成慶讃法要を行います。大遠忌は50年に1度の大法要であり、本堂落成は実に63年ぶりとなります。

ご法名をいただくことができます

「法名」とは、お釈迦様より1字をいただいた「釋○○」という、仏弟子となったお名前です。よく「亡くなってからいただくもの」と思われていますが、本来は生きている間に戴くものです。今回のご法要では、出家得度にあたっての剃髪を模してご門主さまより頭におかみそりを3回あてていただく「帰敬式」を行い、ご法名を授かることができます。

特に今回の本堂新築のご懇志で先に院号のみ戴かれた方は、ぜひ受式ください。
後日の正式なご案内をご覧ください。



稚児行列が行われます

法要が始まる前に、お子さま方が稚児衣装を着て所定の場所から本堂の中までを歩いていただく、「稚児行列」を行います。
後日の正式なご案内をご覧ください。



記念祝賀会を行います

ご門主さまと一緒に、この法要をお迎えできたよろこびをお祝いしたいと思います。

この貴重なご縁に、ぜひどうぞご参拝ください!

ようこそ函館別院へ 常例布教 布教使さん紹介

1月12日(日)～15日(水)



北豊教区 京仲組

円成寺 原 英太郎師

御開山親鸞さまがお示し下されたお名号・南無阿弥陀仏には、この私を必ずお浄土へ参らせ、仏と成らしめるおはたらきが全て具わっております。その南無阿弥陀仏をいただくたちどころに、お浄土参り間違いなしの身の上をさせていただけるのであります。

この度、一月の常例布教の御縁を結ばせていただきます福岡県行橋市の原英太郎と申します。函館地方は初縁となります。寒さ、雪など気になりますが、精一杯勤めさせていただきます。何卒

宜しくお願い致します。

昨今、時代の変化と共に様々なものが便利、豊かになりました。しかしながら果して人間はどうでしょうか。また、私たちはいつたどこへ向かって日暮らしを送っているのでしょうか。南無阿弥陀仏に見抜かれたこの私の姿は、地獄行きの種をまきながら、まよいのご真ん中にある姿でありました。この私こそが南無阿弥陀仏のお目当てであり、今ここが南無阿弥陀仏のお救いの現場であります。親鸞さまは、まよいを出で離れるためには、南無阿弥陀仏に救われていく道しかないとお示し下さいました。そのお示しを常例布教の御縁でお取り次ぎさせていただきます所存でございます。

皆様方とお会いできますこと楽しみにしております。

1月16日(木)

北海道教区 函館組 西教寺 吉村 善充師

2月12日(水)～15日(土)

大分教区 大野組 極楽寺 蒲池 真証師

2月16日(日)職員法話



堀川乗経師ゆかり 願乗寺 参拝記

函館から1時間半、フェリーが大間に接岸し、それから車でまた1時間半。ここは田畑が広がり、その向こうにはいくつもの山々を望む、青森県川内郡。別院の礎を築かれた堀川乗経師は、

ここから函館へと来られたのです。先日、別院職員研修の第1班として、乗経師の出られたお寺、願乗寺様を参拝させていただきました。きました。

に至った歴史をお話しくださいました。実際に伺いし参拝して、込み上げてくる思いをいただきました。お迎えくださった皆様、心よりお礼申し上げます。

門徒総代の菊池浩三さんと数名の方がお迎えくださり、1713(正徳3)年に建立されてから多くのご苦労とともに今



謹んで新年のご挨拶
申し上げます
平成26年



編集長 田中 明宏

お念仏の中に二〇二四(平成
二十六)年の元旦をお迎え致
しました。

昨年は、本願寺函館別院門
信徒の皆様、崇敬ご寺院ご門
徒の皆様をはじめ、当別院に
思いを寄せて下さる方々のご
支援をいただき、新生事業と
しての別院本堂をはじめとす
る境内地整備が完遂致しまし
た。ありがとうございます。

そして本年六月六日に宗門
はご門主様のお代替りという
大切な年を迎えました。又、当
別院にとりましても「親鸞聖
人七五〇回大遠忌法要」をお
迎えるに併せて「本堂落成
慶讃法要」を五月十日にご門
主様ご親修(ご来函)にておつ
とめさせていただきまます。是非
のご参拝をお願い申し上げます。
年頭のご挨拶いたします。

今年の職員の一言は…「これが私の好きな函館！」

こ



副編集長 吉村 教史

地元(今金)にいた
年月よりいつしか
函館での年月の方
が長くなりました。
温かい函館の人に
感謝。海の恵み・山
の恵みに感謝。私
館が大好きです。

れ



副編集長 毛利 浄圓

気候のいい時期に、
上ノ国町「道の駅
もんじゅ」から日
本海を望む風景や
江差沖に沈む夕日
が私の心の癒やし
です。

が



副編集長 平田 淳真

例えば、横から入
るのを待っている
車に道を譲ると、
どの方も深々とお
辞儀。ホントにいい
人ばかりです、函
館。

わ



副編集長 西光寺 広倫

別院から毎日見て
いる函館山。春夏
秋冬いろんな表情
を見せてくれる。
そんな街、函館が
素敵です。

た



副編集長 永江 智明

イカが美味しい！
イカ刺し・いか飯・
スルメ・塩辛・イカ
天・イカポッポ全
部大好き。あと、い
か踊りも！

し



副編集長 西崎 浄惇

夜に江差から函館
に戻り、大野の国
道に入った時の夜
景(裏夜景)。
長距離の運転後で
すが、元気をもら
えます。

の



副編集長 寺井 眞祐

晴れた日の函館新
道沿いから見える
田園風景、海を挟
んで見える山々の
景色がとても素晴
らしいです。

す



承仕平塚 真邦
お参り先の皆さん
です。ほんの少しし
か時間はないけれ
ど、皆さんの温か
い笑顔が実は私の
元気の源です。

き



臨時職員 丸岡 眞水
やっばり食べ物、
特に海産物。山間
部育ちの自分には
どれも至高の逸品
です。

な



書記 古明地 美江
函館公園。毎年の
お花見とジンギス
カンが恒例行事で
す。

ハ



寺務員 高谷 香葉
毎年欠かさず行く
函館山の夜景です
ね。毎年、数々のド
ラマがうまれます。
(笑)

コ



用務職員 岡本 竹敏
函館競馬場の観客
席から見える函館
山、津軽海峡、そし
て芝がとてもきれ
いです。

ダ



用務職員 藤井 幸子
函館山、山頂！こ
こから街を見るの
が好きです。季節
の変わり目、雲の
流れ…心がホッコ
リします。

テ

教化団体だより

仏教婦人会

◆常例仏婦の日

1月12日(日)・昼12時より

◆新年会

1月23日(木)・昼12時よりお勤め(本堂)

・引き続き会食(文化会館)

◆常例仏婦の日

2月12日(水)・昼12時より

◆例会

2月23日(日)・午後1時30分より

仏教壮年会

◆函館組合同新年会

1月予定

◆新年会

2月予定

覚信尼会

◆新年会

1月21日(火)・午後7時より

◆研修会

2月6日(木)・午後1時30分より

仏教に学ぶ会

◆報恩講・一泊研修会

1月予定

み教えの部

2月28日(金)・午後6時より※予定

お勤めの部

2月18日(火)・午後6時より

ボーイスカウト

◆函館地区年頭交歓大会

1月12日(日)・午前11時より

◆その他、各隊の集会や舎営を予定



ボーイスカウト函館第2団

上進式・入隊式

●11月23日 本堂にて

新たに隊に入る子と上の隊に進む子たちが、覚えてきたボーイスカウトにおけるそれぞれの「ちかいかいとおきて」を皆の前で唱え、無事に上進・入隊を果たしました。

YBAはこだて(仏教青年会)

◆函館組合同新年会

1月予定

◆例会

2月予定



YBAはこだて(仏教青年会)
ボジョレーヌーボー試飲会

●11月23日

文化会館2階にて

毎年恒例のこの会に、今年はなんと10名以上のYBA初参加者がお越しくださいました。ワインなどを飲みながらの楽しい時間は、あっという間に過ぎていきました。

函館組「御同朋の社会をめざす運動」研修会

ほのぼのお念仏の集い

時 平成25年 12月5日 所 湯の川啄木亭にて

80名以上の方々とご一緒に、研修会で学んで懇親会で笑って、今年も楽しい会になりました!



荒到夢形さんの講談



「花音」さんの読み語り



中村時子さんxご住職方のコラボ



最後はみんなで北海盆唄

お悔やみ
申し上げます

永代経懇志
ありがとうございます



テレフオン 法話順番表

☎ 0138-27-2424
24時間好きなときにいつでも

- 1月1日(水) ↓ 1月11日(土) … 田中(輪)
- 1月12日(日) ↓ 1月18日(土) … 西崎(承)
- 1月19日(日) ↓ 1月25日(土) … 1月常例講師
- 1月26日(日) ↓ 2月1日(土) … 寺井(承)
- 2月2日(日) ↓ 2月8日(土) … 平塚(承)
- 2月9日(日) ↓ 2月15日(土) … 丸岡
- 2月16日(日) ↓ 2月22日(土) … 吉村(副)
- 2月23日(日) ↓ 3月1日(土) … 2月常例講師

ちよつと ひといき

ご門徒さんから頂いた作品を紹介させて頂きます。
温かき想い出胸に常にあり
独り居ても寂しからず

万代町 山本真紀子

冬近く我が行く道に木の葉舞ふ

ヨガ教室に楽しむ一日

湯川町 勝木ミツ子

しみじみと父母の墓前に手を合はす
八十余年生かされて今

湯浜町 土矢成道

皆さんも俳句、短歌、漫画などお寄せ下さい。

年忌早見表

一周忌	平成25年(2013年)	平成26年
三回忌	平成24年(2012年)	
七回忌	平成20年(2008年)	
十三回忌	平成14年(2002年)	
十七回忌	平成10年(1998年)	
二十五回忌	平成2年(1990年)	
三十三回忌	昭和57年(1982年)	
五十回忌	昭和40年(1965年)	
百回忌	大正4年(1915年)	
	二十三回忌 平成4年(1992年)	
	二十七回忌 昭和63年(1988年)	

※ については、どうぞご相談ください。

編集後記

▼ 先月本誌に入院のことを書いてから、お参り先で多くの方からお声かけいただきました。体調を案じてくださったことも、この拙い編集後記に目を通してくださったこと、このお参り先で、本誌に嬉しかったこと、この「お西さん」を通して毎回、伝えることの難しさ、自分の未熟さを痛感します。つねの言葉ばかり考へて、上手くできないなら伝えるのをやめたりもする私です。でも何より大切なのは、まず伝えようとする気持ちでした。たくさん温かい言葉に励まされながら、気づかせていただきました。

▼ 誌面でも出ておりますが、職員研修にて青森に行きました。函館別院の礎を作ったくださった堀川兼経さんを偲ばせていただきお参りしました。この方のおかげで、今、別院があると思うと感慨深い思いになりました。

墓石専門店

墓石の新築・修理

法名戒名彫刻

クリーニング

鍛冶石材店

函館市入舟町7-4

☎(0138)23-1611・FAX23-2638

暮らしの中の拝む心・敬う心を大切に、ご宗旨に添った伝統的なお佛壇から、リビングに似合う家具調まで…。幅広い品揃えで質の高い佛壇・神具をお届けしております。各種提灯を展示しています。ご来店お待ちしております。



(株) 大師堂佛壇店 函館店

函館市若松町4番11号

TEL. 0138-27-2271 FAX. 0138-27-2285

学校法人 龍谷幼稚園だより

☆生活発表会



11月30日(土)に、「生活発表会」が行われました。第1部では、各クラスの英語発表でした。年少組は色や果物の歌、年中組は数字や手遊び歌、年長組は「はらぺこあおむし」の絵本を英語発表しました。第2部も各クラス子どもたちの特色が見られました。年少組の遊戯や年中組のオペレッタ、年長組の言語劇と、年齢ごとの子どもたちの個性・表現力に沢山の拍手をもらいました。

別院ご門徒の方々にもご覧いただき、温かい拍手をもらいました。ありがとうございます。

☆KIDS DAY



全園児が遊戯室に集まっての「KIDS-DAY」、今回は「小麦粉粘土」でした。赤・緑・黄の3色の中から1つ選びました。「バラの花」「へび」「ケーキ」等、みんな笑顔で粘土遊びを楽しみました。



☆もちつき

ねじりはちまきを巻いてぺったんぽったんと「もちつき」が、12月6日に行われました。自分たちでついたおもちが「きなこもち」や「いそべ巻き」になり、おかわりをいっぱい食べていました。お正月が待ち遠しいですね。



心のやさしさを育む宗教保育

龍谷幼稚園

平成26年度

園児募集中

お申し込み・お問い合わせ先

電話

23-0274

預かり保育

さんさんくらぶ

お仕事をしてお母さんや、用事でしばらくみて欲しい人のために幼稚園の保育がすんだ後、夜6時30分までお預かり致します。

- 対象→龍谷幼稚園児並びに2歳以上の弟妹
- 担当→幼稚園の先生
- 内容→保育終了後 毎日/幼稚園振替日/夏・冬休み(土曜日のみ要予約)
- 保育料→園までご連絡下さい。